



限定
100口

日本の原風景が残る場所

骨寺村莊園オーナー募集

岩手県一関市巖美町の本寺地区は、800年もの昔、「骨寺村」と呼ばれる、中尊寺経蔵別当の莊園でした。現在も中尊寺に残る絵図から当時の農村風景がうかがえる場所であり、日本の伝統的な農村景観が今も息づく場所として、世界遺産候補地となっています。しかし、米価の低迷等、農業情勢が厳しさを増し、その農村景観の維持は難しくなっています。この景観を未来へと残し伝える為に、水田営農の支援者として「骨寺村莊園オーナー」を募集いたします。

募集期間

平成21年2月20日(金)～4月10日(金)

会員特典

「骨寺村莊園米」40kg(精米)を4回に分けて宅配します。
(11月・1月・3月・5月)

会費には「骨寺村莊園米」宅配送料、
骨寺村莊園での農業体験料が含まれていますので、
改めて費用はかかりません。

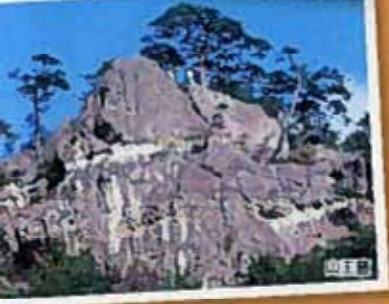
骨寺村莊園関連イベント等の案内を
随時送らせていただきます。

骨寺村莊園米

品 種	米の乾燥方法	体験料	1口の米数量	会 費
ひとめぼれ	天日乾燥	無料	40kg	32,000円

骨寺村莊園米とは？

中世の農村風景をとどめる骨寺村莊園境内において、自然と環境を守りながら、安全で安心を心がけて作られたお米です。おいしさの秘密は、栗駒山から湧き出たきれいな水で作られていることにあります。



お申込・
問合せ先
〒024-0801 岩手県一関市
にございます

骨寺村21世紀フォーラム事務局 (一関市役所農政課内)
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2
TEL.0191-21-8421(内線 8423) FAX.0191-21-4221
e-mail nosei@city.ichinoseki.iwate.jp

オーナーさんQ&A

日本の農村の原風景が残る場所本寺は、オーナーの皆様にとって、どこか懐かしく、ほっとする場所。行きつけの田舎でありたいと考えています。ふるさとの親戚の家に遊びに来る様な感覚で来てください。お待ちしております。

Q1. 農業は初めてなのですが、心配ありませんか？

A1. 心配いりません。作業をするときは、地元の農家さんが直接教えてくれます。

Q2. 昔ながらの田植えや稲刈りが体験できますか？

A2. 田植えは手植え、稲刈りは手刈りで昔ながらの農業を体験していただけます。

Q3. 義務はあるのですか？

A3. 強制ではありませんが、なるべく多くの体験に参加してください。

Q4. 骨寺村荘園遺跡に興味があるのですが、歴史についても教えてもらえますか？

A4. 農業体験の他にも「史跡めぐり」など歴史に関係した事業を予定しています。

Q5. 子どもにも体験させたいのですが、一緒に連れてっていいでしょうか？

A5. たいしょうぶです。お子さんもぜひ一緒に参加ください。



お帰りの際は、「一関温泉郷」をどうぞ!!

■スケジュール(予定)

4月 / 種蒔き

5月 / 田植え

10月 / 稲刈り

12月 / 米納め

※他にもイベント企画中



次世代へ笑顔でつなごう 荘園農業
「骨寺村荘園遺跡」稲刈り体験と荘園めぐり

「骨寺村荘園オーナー」申込書

「申込書」に必要事項を記載し、下記申込先へFAXするか、必要事項をメールに記載して送信願います。

申込先 / 一関市役所 農政課 : FAX0191-21-4221 TEL0191-21-8421 (内線8422) e-mail nosei@city.ichinoseki.iwate.jp

会費の納入 / 申込者に、3月31日(火)以降郵便振替用払込票を送付しますので、4月27日までに納入をお願いします。

フリガナ	〒	口 数	口
氏 名	住 所	金 額	円
男 ・ 女	歳		
E-mail			
自宅電話番号		自宅FAX番号	

※ご記入いただいた個人情報は、連絡・お米の発送など、当該の目的以外に使用することはありません。